

三重県における太陽光発電の普及状況について

平成27年3月

三重県戦略企画部統計課

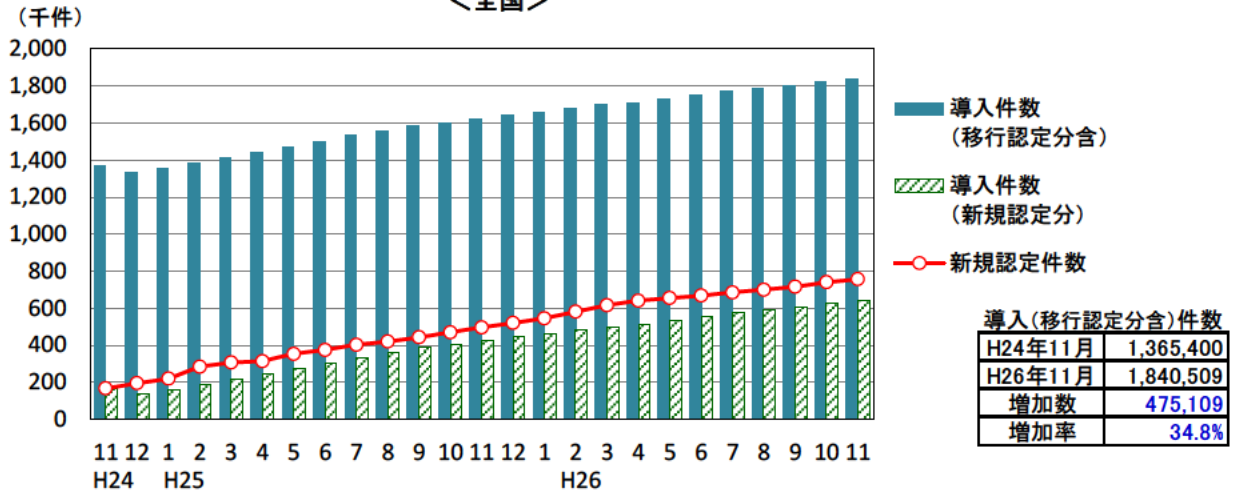
平成21年11月1日から太陽光発電の余剰電力買取制度が開始され、平成24年7月1日からは再生可能エネルギーの固定価格買取制度に移行し、県内でも太陽光発電設備の普及が進んでいます。

そこで、全国及び三重県、県内市町の太陽光発電設備の普及状況について、固定価格買取制度にかかる資源エネルギー庁の公開データ及び平成25年に実施された「住宅・土地統計調査」の結果に基づき考察しました。

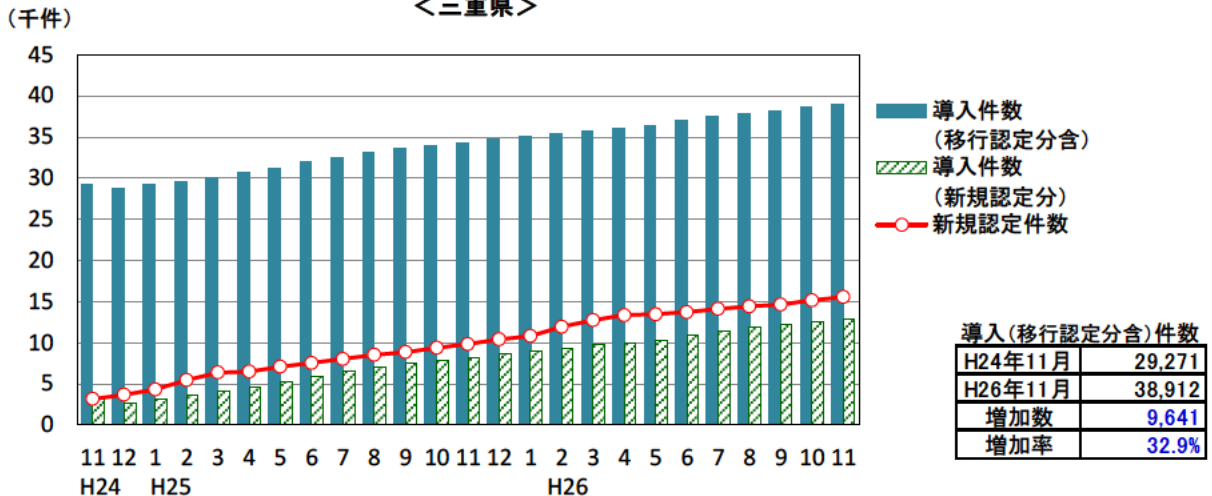
1 固定価格買取制度における太陽光発電(10kW未満)の認定及び導入件数の推移

資源エネルギー庁「再生エネルギー発電設備認定状況」により、固定価格買取制度における10kW未満の住宅用の太陽光発電設備について、平成24年11月から26年11月までの全国及び三重県の導入及び認定件数の推移をみたのが次のグラフです。

〔図1〕 太陽光発電設備の認定・導入件数の推移(住宅用・10kW未満)
＜全国＞



〔図2〕 太陽光発電設備の認定・導入件数の推移(住宅用・10kW未満)
＜三重県＞

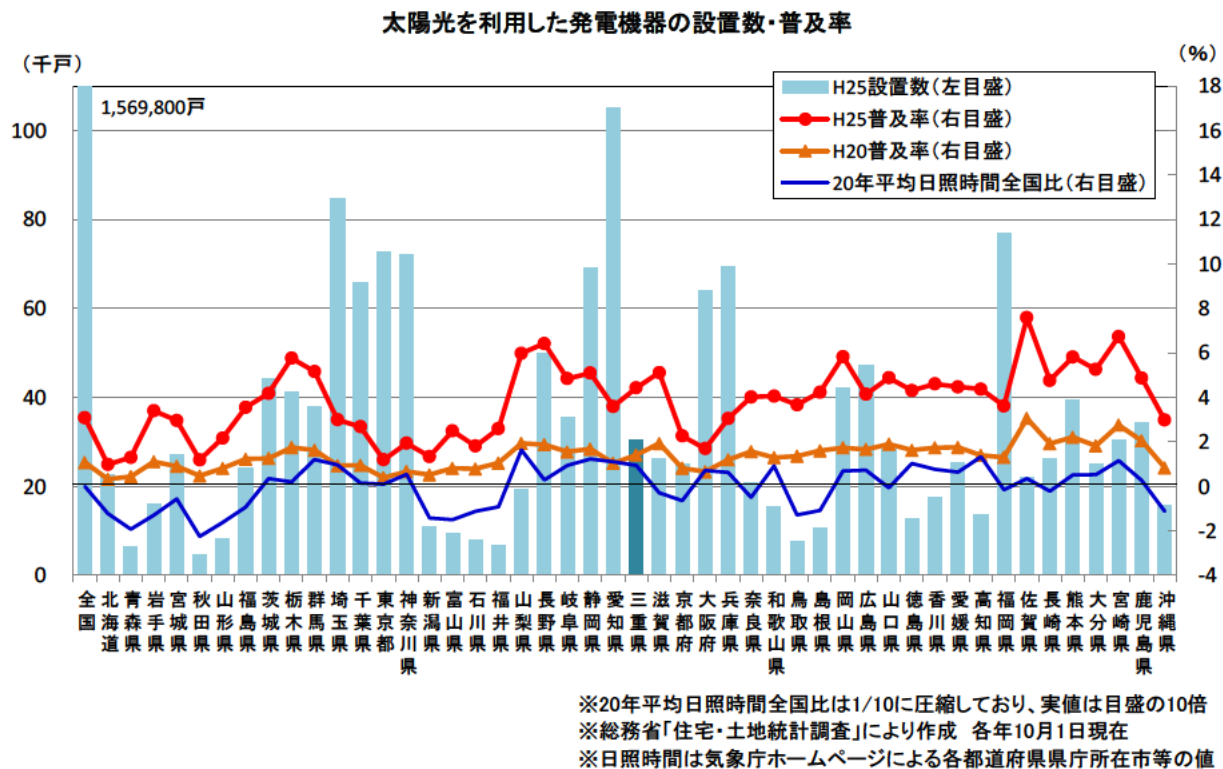


● 固定価格買取制度開始後、三重県における10kW未満の太陽光発電設備の導入件数は、全国と同様順調に増加しており、平成26年11月までの2年間で約33%増加。

2 都道府県別にみた住宅における太陽光発電設備の普及率

総務省「住宅・土地統計調査」により、都道府県別に住宅における太陽光発電設備の平成20年及び平成25年の普及率と、平成25年における設置数、過去20年間の平均日照時間の全国比をみたのが次の図表です。

〔図 3〕



〔表 1〕 太陽光発電機器設置数及び普及率
(平成25年)

都道府県	設置数	普及率(%)	順位
全国	1,569,800	3.10	
佐賀県	22,100	7.59	1
宮崎県	30,600	6.74	2
長野県	49,800	6.42	3
山梨県	19,300	5.99	4
岡山県	42,300	5.83	5
静岡県	69,100	5.10	11
岐阜県	35,400	4.85	14
三重県	30,600	4.44	18
愛知県	105,000	3.60	28

〔表 2〕 平成20～25年普及率増加倍率

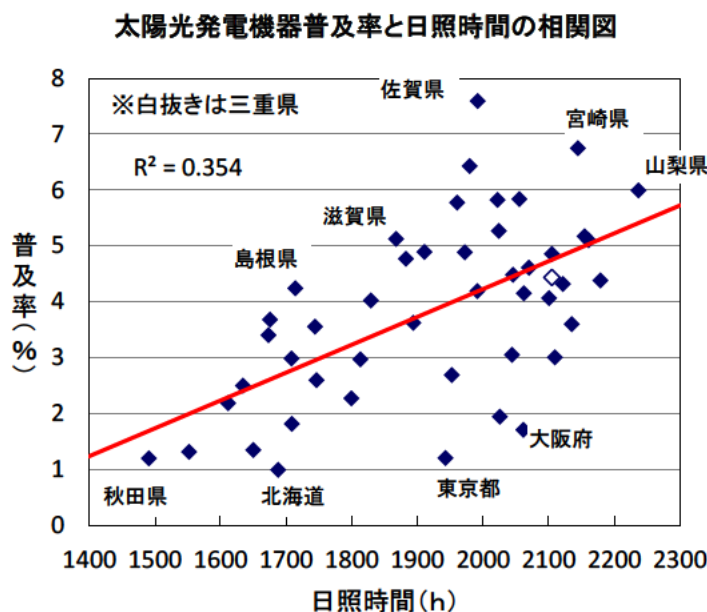
都道府県	増加倍率(倍)	順位
全国	2.86	
沖縄県	3.55	1
愛知県	3.43	2
長野県	3.42	3
岡山県	3.35	4
茨城県	3.31	5
三重県	3.13	10
岐阜県	3.10	13
静岡県	3.02	18

- 平成25年10月1日現在で太陽光発電機器のある住宅数は、全国で約157万戸、三重県は約3万1千戸。愛知県が10万5千戸で都道府県で最も多い。
- 普及率は全国が3.10%、三重県は4.44%で全国18位。佐賀県が7.59%で最も高く、次いで、宮崎県、長野県の順。
- 平成20年から25年の普及率の増加倍率は、全国が2.86倍、三重県は3.13倍で全国10位。
- 各都道府県(県庁所在市)の日照時間が長いほど、普及率が高い傾向。

3 住宅の太陽光発電設備普及率と日照時間の関係

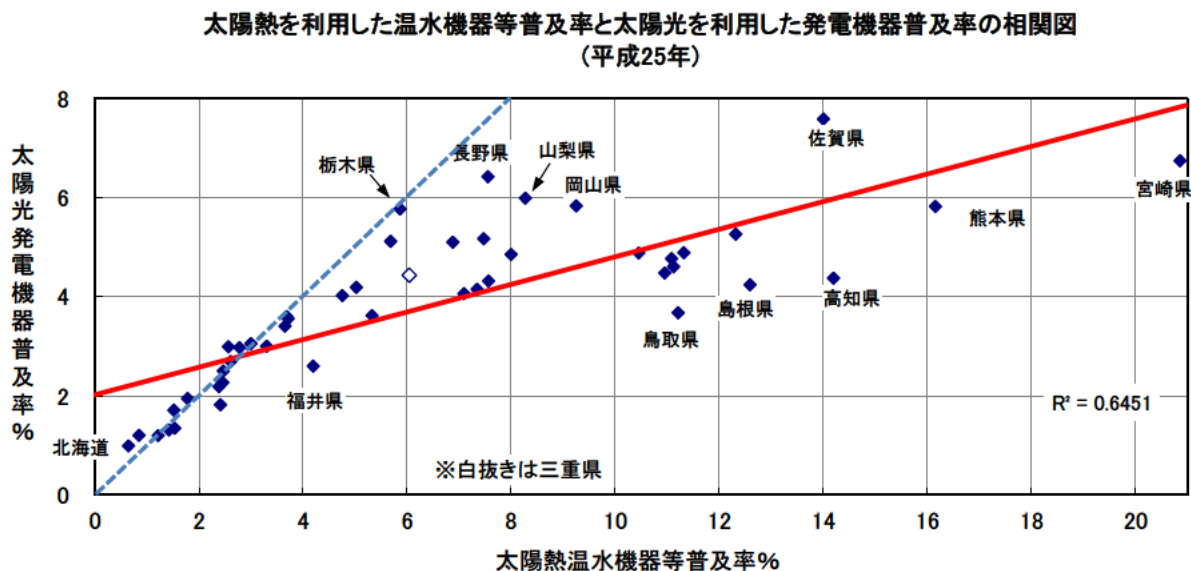
都道府県別の住宅の太陽光発電設備普及率と過去20年間の平均日照時間との分布をみたのが次のグラフです。相関係数は、0.595で、やや強い相関が認められます。

〔図 4〕



次に、都道府県別の太陽光発電設備普及率と太陽熱温水機器普及率の分布をみたのが次のグラフです。相関係数は0.803で、強い相関が認められます。

〔図 5〕

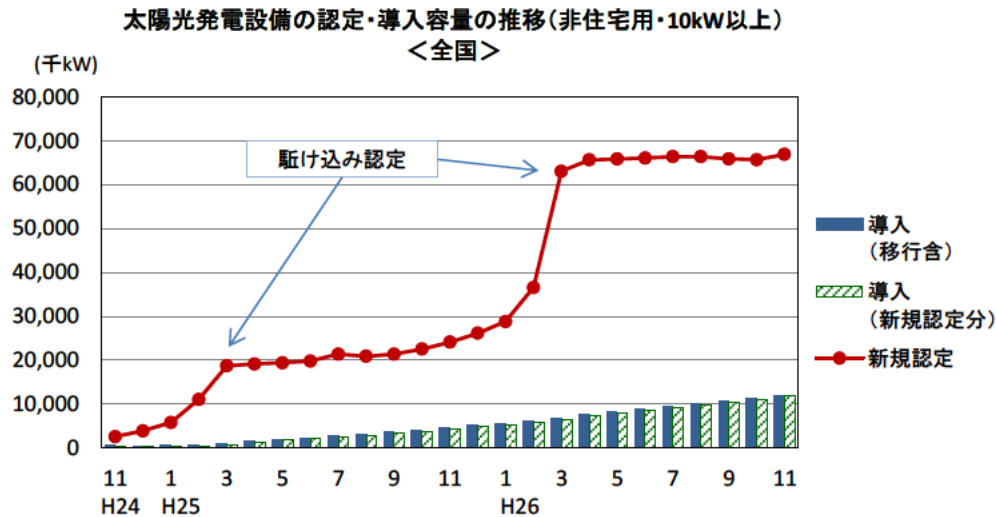


- 都道府県別の太陽光発電設備普及率は、日照時間と相関があり、日照時間が長い都道府県ほど普及率が高い。
- 三重県は日照時間が全国10位(津市)、太陽光発電設備普及率が18位でともに全国より高い。
- 都道府県の太陽光発電設備普及率は太陽熱温水機器普及率との相関が強い。特に下位20都道府県は太陽光発電設備普及率と太陽熱温水機器普及率がほぼ同じ。

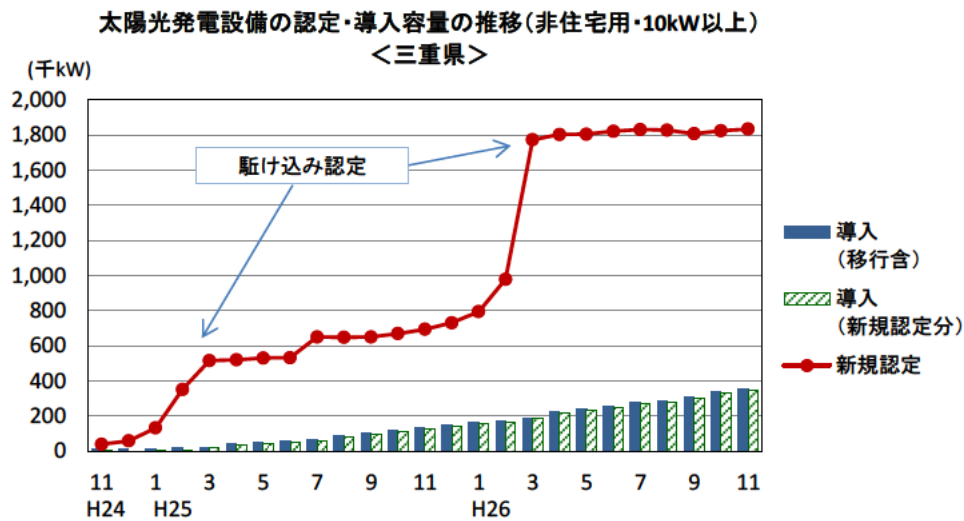
4 固定価格買取制度における太陽光発電(10kW以上)の認定及び導入容量の推移

資源エネルギー庁「再生エネルギー発電設備認定状況」により、固定価格買取制度における10kW以上の非住宅用の太陽光発電設備について、全国及び三重県の平成24年11月から26年11月までの導入及び認定容量の推移をみたのが次の図表です。

〔図 6〕



〔図 7〕



〔表 3〕

太陽光発電設備(10kW以上)の導入・認定容量
 (平成26年11月末時点)

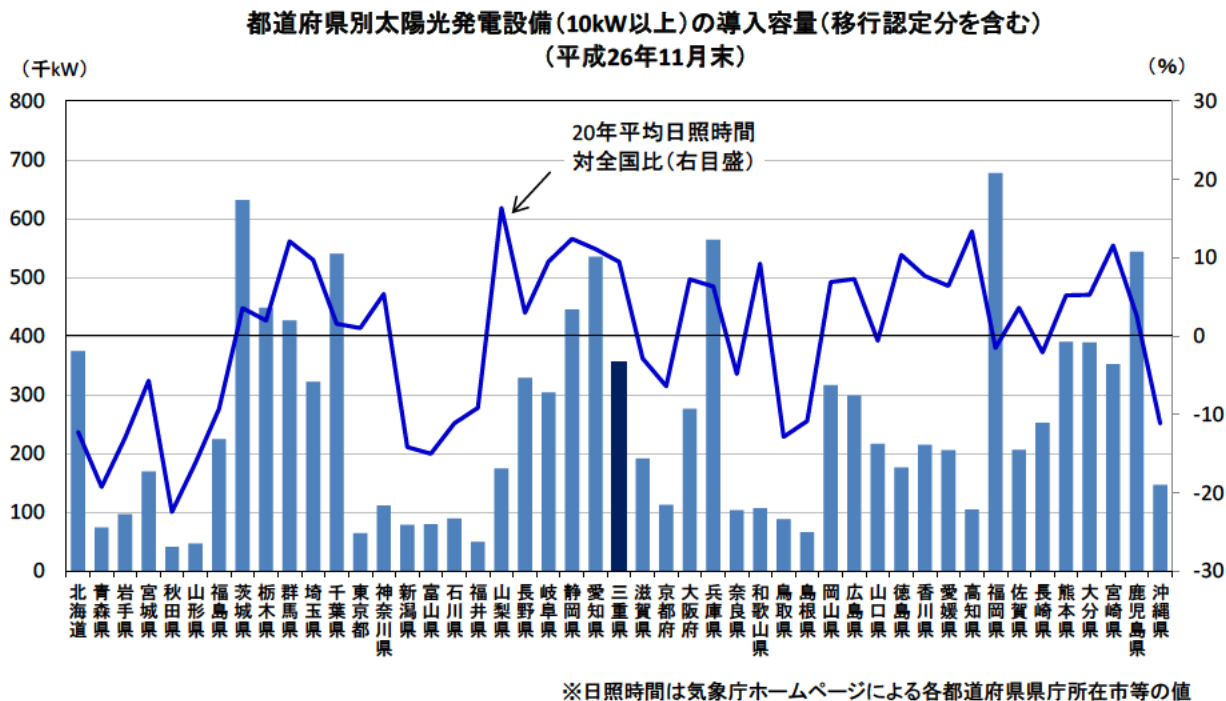
	導入容量 (移行認定分を 含む)(kW)	新規認定 容量 (kW)	導入容量 (新規認定分 のみ)(kW)	新規認定分 導入率
全国	12,020,787	66,884,156	11,761,435	17.6%
三重県	356,144	1,834,932	348,379	19.0%

- 非住宅用の太陽光発電設備の導入は平成24年から着実に増加を続けており、平成26年11月末現在で全国が約1千200万kW、三重県は約36万kW。
- 三重県における非住宅用の太陽光発電設備の認定容量は、全国と同様、調達価格の切り替わる年度末に駆け込みで大幅に増加し、平成26年3月からはほぼ横ばい。
- 新規認定容量に対する導入率は19.0%で、全国の17.6%よりは高いが低レベル。

5 都道府県別にみた非住宅用太陽光発電設備の導入容量

資源エネルギー庁「再生エネルギー発電設備認定状況」により、都道府県別に10kW以上の非住宅用の太陽光発電設備について、平成26年11月末の導入容量及び年間の平均日照時間の対全国比をみたのが次の図表です。

〔図 8〕



〔表 4〕

太陽光発電設備(10kW以上)の導入容量
(移行認定分を含む)
(平成26年11月末)

都道府県	導入容量 (kW)	順位
福岡県	677,663	1
茨城県	631,437	2
兵庫県	564,158	3
鹿児島県	543,809	4
千葉県	540,206	5
愛知県	535,104	6
静岡県	445,571	8
三重県	356,144	13
岐阜県	304,133	18

- 平成26年11月末の三重県の導入容量は約36万kWで全国13位。福岡県が全国1位で、次いで茨城県、兵庫県の順。愛知県、静岡県も上位。
- 日照時間が長い都道府県ほど、非住宅用の太陽光発電設備の導入容量が多い傾向がある。

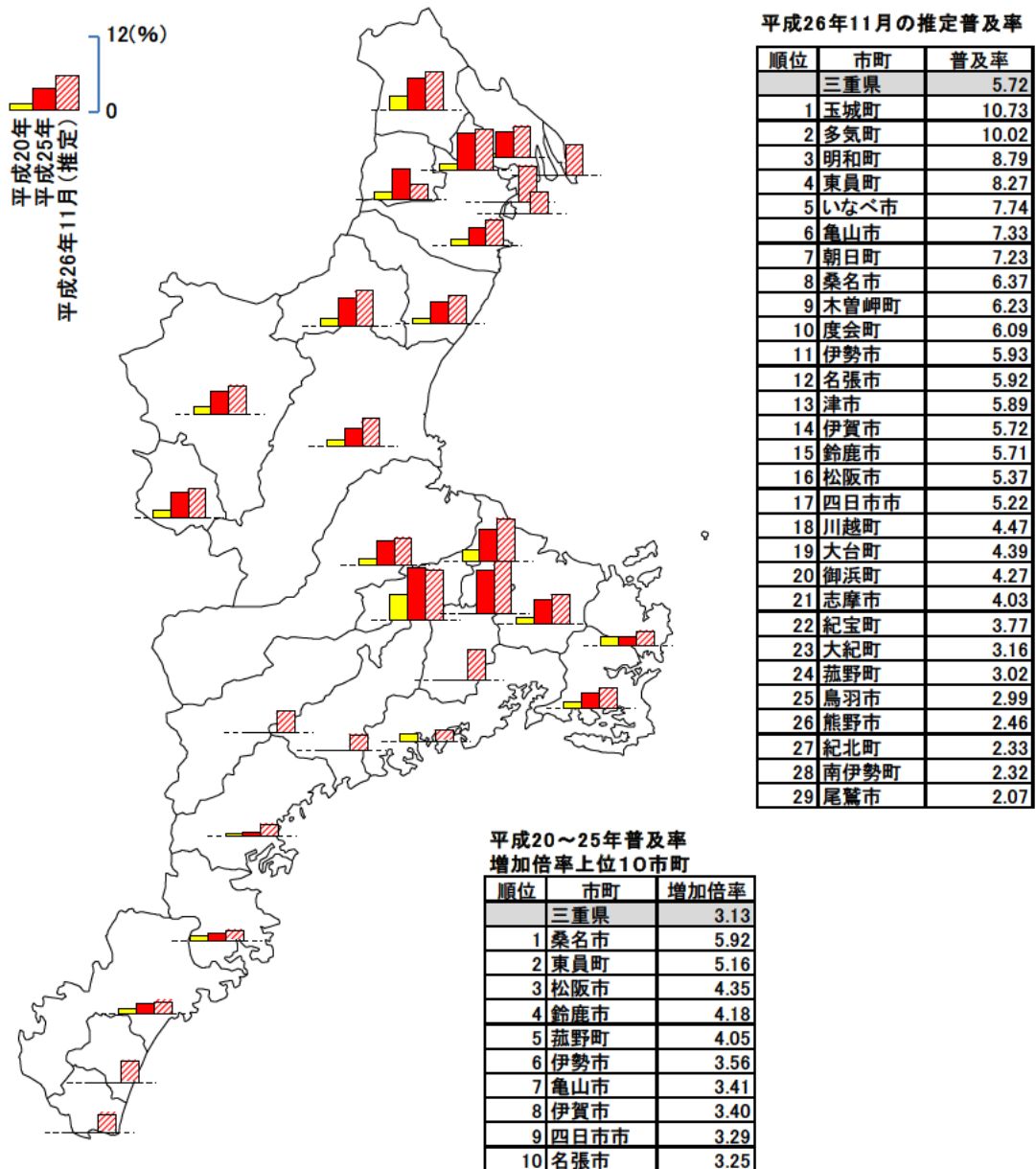
6 県内市町における太陽光発電設備の普及状況

県内の市町の住宅における太陽光発電設備の普及率について、平成20年、25年及び平成26年11月末(推定値)の推移をみたのが次の地図グラフです。

〔図 9〕 県内市町の太陽光発電設備普及率

※平成20年、25年は「住宅・土地統計調査」による。集計があるのは市及び人口1万5千人以上の町のみ。

※平成26年11月は、「再生エネルギー発電設備認定状況」及び平成22年国勢調査により推定。



- 平成26年11月末時点の県内市町における太陽光発電設備の推定普及率は、玉城町がで10.8%で最も高く、次いで玉城町、明和町の順。
- 平成20年から25年にかけて、ほとんどの市町で普及率が大きく上昇しており、3倍以上が10市町。特に桑名市と東員町は5倍以上と大幅に上昇。